

令和2年第2回定例会（12月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

当日配付分

令和2年12月9日

農 林 水 産 部

目 次

- 1 秋田米新品種ブランド化戦略の推進状況について
[水田総合利用課秋田米ブランド推進室] ----- 1
- 2 今期のハタハタの漁獲状況について [水産漁港課] ----- 3

1 秋田米新品種ブランド化戦略の推進状況について

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

新品種の名称を「サキホコレ」に決定し、県内外で周知キャンペーンを実施するとともに、令和4年産の生産団体の登録を行った。

1 名称の決定

(1) 名称

「サキホコレ」

(2) 選定理由

- ・ 市場で長く親しまれ、存在感を示すことができる
- ・ 響きが良くて、メッセージ性が高く、プロモーションの展開に期待が持てる
- ・ 明るい未来を感じさせる

(3) ネーミングに込めた思い

- ・ 「秋田の地力」から生まれた「小さなひと株」が、誇らしげに咲き広がって、日本の食卓を幸せにしてほしい
- ・ お米自身へのメッセージであると同時に、生産者や消費者に明るいチカラを与える「エール」でもある



知事と佐々木希氏
〔11月17日 名称発表イベント〕

2 名称周知キャンペーン

各キャンペーンともに盛況で、名称はおおむね好意的に受け止められており、令和4年の本格デビューに向けて期待感が高まっている。

(1) 名称周知キックオフイベント

- ・ 期日 令和2年11月21日（土）
- ・ 場所 イオンモール秋田
- ・ 内容 名称案優秀作品授賞式、ステージイベントほか



〔優秀作品授賞式〕

(2) 名称周知キャラバン

- ・ 期間 令和2年11月28日（土）～12月13日（日）
- ・ 場所 道の駅おおゆ、道の駅ふたついで、道の駅十文字、JR秋田駅「ぽぽろーど」、イオンモール大曲
- ・ 内容 ステージイベント、サンプル米配布ほか



〔道の駅おおゆで配布〕

(3) サンプル米配布キャンペーン

- ・ 期間 令和2年11月28日（土）～12月13日（日）
- ・ 内容 県内外の米穀専門店、量販店（84店舗）で配布



〔ホテルの朝食で提供〕

(4) 先行提供キャンペーン

- ・ 期間 令和2年11月28日（土）～12月28日（月）
- ・ 内容 県内外の宿泊施設（25店舗）の朝食等で提供

3 令和4年産の生産団体の登録状況

- (1) 募集期間 令和2年7月1日（水）～8月28日（金）
 (2) 登録年月日 令和2年12月7日（月）
 (3) 登録件数 14団体
 (4) 登録面積 719ha

| No. | 地域 | 生産団体名 | | 登録面積 (ha) | 生産者数 (経営体) |
|-----|----|----------------------------|--------------------------|--------------|---------------|
| | | | 集荷業者名 | | |
| 1 | 秋田 | JA秋田なまはげ 秋系821栽培研究会 | 秋田なまはげ農業協同組合 | 77 | 78 |
| 2 | 〃 | JAあきた湖東 「秋系821」生産部会 | あきた湖東農業協同組合 | 46 | 35 |
| 3 | 〃 | 秋田県主食集荷商業協同組合 次世代米協議会 | 秋田県主食集荷商業協同組合 | 60 | 51 |
| 4 | 〃 | 秋系821栽培研究会 | 株式会社大潟村カントリーエレ ベーター公社 | 39 | 17 |
| 5 | 〃 | 「美穂」の会 | 有限会社大潟愛情米クラブ | 2 | 3 |
| 6 | 〃 | 利活秋系会 | 株式会社利活用秋田 | 5 | 5 |
| 7 | 〃 | 大潟村同友会良食味研究会 | 株式会社大潟村同友会 | 12 | 5 |
| 8 | 由利 | 秋田しんせい農業協同組合 秋系821栽培研究会 | 秋田しんせい農業協同組合 | 79 | 90 |
| 9 | 〃 | 秋系821栽培協議会 | 有限会社なるほど舎 | 1 | 3 |
| 10 | 仙北 | 「秋系821」生産専門部会 | 秋田おぼこ農業協同組合 | 214 | 186 |
| 11 | 〃 | 仙北市新品種栽培研究会 | 農事組合法人サンファーム西木 | 5 | 5 |
| 12 | 平鹿 | JA秋田ふるさと 秋田ブランド米栽培研究会 | 秋田ふるさと農業協同組合 | 129 | 120 |
| 13 | 雄勝 | JAこまち稲作連絡協議会 新品種栽培研究部会 | こまち農業協同組合 | 31 | 47 |
| 14 | 〃 | JAうご秋系821栽培研究会 | うご農業協同組合 | 20 | 33 |
| 合 計 | | | | 719 | 678 |

※ 表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

(5) 今後の取組

ア 栽培技術研修（年5回程度）

- ・ 令和3年1月 品種特性、栽培方法
- ・ 〃 5月 育苗管理
- ・ 〃 7月 生育診断、肥培管理
- ・ 〃 9月 適期刈取
- ・ 〃 12月 実績検討、食味確認

イ 先行作付（令和3年産：80ha程度）

食味検査や保管などの集荷体制が整っており、令和4年産の作付規模が比較的大きい生産団体において実施する（JA系8団体、主食集荷組合1団体程度）。

ウ 生産団体の追加募集

令和4年の目標面積800haの確保に向け、令和3年4月に生産団体の追加募集を実施する。

2 今期のハタハタの漁獲状況について

水産漁港課

1 漁獲枠

- 漁獲枠は、水産振興センターの調査結果等を基に、漁業者や市場関係者等で構成される「ハタハタ資源対策協議会」において決定している。
- 今期の漁獲枠は、650 t で、その内訳は沿岸と沖合で各325 t ずつであり、昨年同様となった（ハタハタ管理漁期は例年9月～翌年6月まで）。
- また、今期の漁獲量の管理に関して、漁家収入と資源維持の両立を図るため、漁獲枠に達した場合でも、漁業者は、箱数制限や一時休漁などの追加的な制限をしながら継続して操業できることが取り決められた。
- 具体的な箱数や休漁日等については、漁獲枠に達した地域や漁業種類ごとに、協議会の主要関係者が調整の上決定し、各漁業者への周知徹底を図ることとしている。

2 漁獲状況（12月6日現在速報値）

- 沖合の12月6日までの漁獲量は、132 t で漁獲枠に対して41%、前年同期比では52%であり、直近のピークである平成20年以降最低となっている。
- 沿岸は、昨期より10日遅い12月6日に由利本荘市西目で初漁を迎えた（昨期：11月26日に男鹿市船川港及び由利本荘市西目で初漁）。
- 漁獲物の年齢組成は、小型（1歳魚）>大型（3歳以上）>中型（2歳魚）の順となっている。

【参考】地域別漁獲量（令和2年12月6日現在速報値）

単位：t

| 地 域 | | 令和2年 | 令和元年 | 平成30年 |
|-----------|-----|----------|------------|------------|
| 沖 合 | 県北部 | 17 | 105 | 117 |
| | 船 川 | 41 | 78 | 76 |
| | 県南部 | 74 | 69 | 94 |
| | 計 | 132 | 252 | 287 |
| 沿 岸 | 県北部 | — | 72 | — |
| | 男鹿北 | — | 81 | 0 |
| | 男鹿南 | — | 2 | 0 |
| | 県南部 | 0 | 9 | 0 |
| | 計 | 0 | 164 | 0 |
| 最終実績(漁獲枠) | | — (650) | 775 (650) | 612 (800) |
| 沖 合 | | — (325) | 296 (325) | 325 (320) |
| 沿 岸 | | — (325) | 479 (325) | 287 (480) |

※ 水産振興センター調べ 小数点以下の端数処理により計が一致しない場合がある。

※ 数値の「0」は、四捨五入により「0」となったもの。「—」は、漁獲なしを示す。